

# 高齢障がい者の方の利用者負担軽減制度について

## 制度概要

65歳になるまでに5年以上、特定の障がい福祉サービス(※1)の支給決定を受けていた方で一定の要件を満たす場合は、申請をすれば、介護保険移行後に利用した相当する介護保険サービス(※2)の利用者負担が償還されます。

※1 居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所

※2 訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、短期入所生活介護、小規模多機能型居宅介護

## 償還の流れ

対象の障がい福祉サービス

**ホームヘルプ**  
(居宅介護、  
重度訪問介護)

**デイサービス**  
(生活介護)

**ショートステイ**  
(短期入所)

**償還を受けるには、事前に市町村障がい福祉担当課への申請書の提出が必要です。**

要件に該当することを申告し、市町村から決定を受ける必要があります。

65歳に達する前5年以上  
対象の障がい福祉サービス(※1) を利用

介護保険へ  
移行

対象の介護保険サービス(※2)を利用

利用者負担を事業所等に支払

利用者負担の償還

## 対象となる方

### 次の①～④を全て満たす方

①	<b>65歳に達する日前5年間</b> 、特定の障がい福祉サービス(※)の支給決定を受けており、介護保険移行後、これらに相当する介護保険サービスを利用すること。 ※ 居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所
②	利用者の方とその配偶者の方が、当該利用者が65歳に達する日の前日の属する年度(65歳に達する日の前日が4月から6月までの場合は、前年度)において <b>市町村民税非課税者</b> 又は <b>生活保護受給者等</b> であったこと。(申請時も同様)
③	障がい支援区分(障がい程度区分)が、 <b>区分2以上</b> であったこと。
④	65歳に達するまでに <b>介護保険法による保険給付を受けていない</b> こと。